

パオちゃん's EYE

2022年7月1日 発行 No.64

倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館

第31回目となる令和4年度の特別展は「倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館」と題して開催します。妖怪の特別展は3年ほど前から温めてきた企画で、岡山民俗学会理事の木下浩さんをアドバイザーにお迎えして諸準備を進めてきました。

本展では、岡山県を中心として地域に伝わる化け猫・雷獣・狸・狐・狼・怪火・ハンザキ・件（クダン）・鬼・河童・天狗・スイトン・サガリ・スネコスリ・人魚などを展示紹介します。圓珠院ご所蔵の「人魚のミイラ」も展示します。

企画のお話しすると、ほとんどの方は最初「自然史博物館で妖怪？」と反応されますが、動物にまつわる妖怪が多いこと、民俗学的な側面が強くなるものの、動物学的な側面からもアプローチを加えることをお伝えすると納得していただくことができました。

図録の原稿は、メインとなる妖怪については木下さんに執筆していただいたほか、森林総合研究所の川上和人さんや岡山理科大学恐竜学博物館の石垣忍さん、真庭市蒜山郷土館の前原茂雄さんにも執筆していただきました。色鉛筆画家越山洋三さんには、岡山発祥の妖怪スネコスリについて出典の記載や当時の自然環境などを検証のうえですばらしい想像図を描いていただきました。三木國弘さんにはスネコスリのパラパラ漫画を描いていただきました。倉敷芸術科学大学の山下真未さんには、妖怪スネコスリの3Dオブジェクトを作成していただきました。スマホがあれば、かわいいスネコスリが出現し、一緒に記念撮影をしていただけます。すべての方々を記せませんが、ほかにも多くの方々にご協力をいただきました。



妖怪スネコスリ（越山洋三）

本展は当館3階の特別展示室にて7月16日（土）から9月25日（日）まで開催します。会期中には、博物学者荒俣宏さんの講演会、妖怪ヌエを描くワークショップ、木下さんの展示解説、里庄町立図書館司書による妖怪本のお話などのイベントも開催します。皆様のご観覧およびご参加をお待ちしております。

江田伸司(動物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

